

論文審査の結果の要旨

2022年2月11日

申請者： 高 秀葵

論文題目： 伝統的工芸品のラグジュアリーブランドへの戦略

海外著名デザイナー・ブランドとの協働によるイノベーションと越境 EC 戦略

本論文は、日本の伝統的工芸品産業が海外市場に進出し、中小企業と地方経済がともに活性化していく新たなビジネスモデル構築のために、伝統的工芸品のラグジュアリーブランド化、および越境 EC による販路拡大が必要であると仮定し、検証、考察を行った。研究目的を達成するために、著者は、①日本の伝統的工芸品は、海外著名デザイナー・ブランドと協働し、伝統を踏まえたイノベーションを継続することによって、ラグジュアリーブランドに成長することができる。②日本の伝統的工芸品は、国際的に著名なラグジュアリーブランドに成長するためには、外国向けのカスタマージャーニーを分析し、「旅マエ」「旅ナカ」「旅アト」における顧客価値を再設計し、越境 EC と連携することは有効である、という二つの仮説を立てて検証が行われた。

日本の伝統工芸品のラグジュアリーブランド戦略に関する学術研究が少ない中で、著者は伝統工芸品の発展現状、公的支援策、海外進出事例、越境 EC の展開、海外の成功事例など幅広い視点から検証を行い、有効な結論が導かれたと認められる。特に地域経済活性化における訪日外国人を意識した旅マエ、旅ナカ、旅アトの伝統工芸品における顧客価値を強調されたことに意義がある。また、伝統工芸品から地域経済活性化への貢献を論じる視点はユニークで、当該研究分野に一石を投じた論文に値する。

審査員（主査） 孫根 志華

審査員（副査） 葉 剛

審査員（副査） 染谷 芳臣